

事務事業名	緊急時対応体制の構築事業	事務事業No.	40801000601	所属課	水道課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

<p>(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？</p> <p>緊急時における水道水の安定給水を確保するため、水道事業危機管理マニュアルを作成し、市民や関係事業所等との災害時連携を構築するものです。また、職員が迅速に対応し、給水の混乱を少しでも回避するためのものです。</p>	
<p>(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？</p> <p>特にありません。</p>	
<p>(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容</p>	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 緊急時における水道水の確保は、市民の生活環境を守り快適で潤いのある生活環境づくりという政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ライフラインである水道水の緊急時の給水対応については、事前の周知を含め事業管理者である行政の役割である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 危機管理マニュアルを整備し関係事業所等との連携を構築するだけでなく、市民に対して広く災害時対応マニュアルをアナウンスすることにより一層の効果が期待できる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民及び職員が緊急時に系統立った対応ができなくなり、混乱が予想される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 緊急時に対してこの事業以外に対応できる事業は無い。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は計上されておらず、人件費による危機管理マニュアルの作成と市民への周知だけである。危機管理マニュアル作成にかかる人件費のみであり、必要最低限の人員で対応している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 危機管理マニュアルを作成することにより職員が迅速に対応し、給水の混乱を回避し水道施設の早期復旧ができることにより、市民サービスの向上につながるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

<p>(1) 1次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>		<p>(2) 全体総括（振り返り、反省点）</p> <p>東日本大震災を契機に、災害時の危機管理マニュアルの必要性は大きくなっている。また、緊急時に行政との連携ができる関係各社と連携体制を構築しておくことは非常に有効であるが、職員だけでなく広く市民に対して周知することで一層の成果の向上が期待できる。</p>																						
<p>(3) 今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>（複数回答可）</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>		<p>(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
<p>(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <p>構築事業として26年度で終了となるが、継続して広報等により市民へ周知することも必要である。</p>		<p>(6) 事務事業優先度評価結果</p> <p>成果優先度評価結果 ②</p> <p>コスト削減優先度評価結果 ⑨</p>																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

<p>(1) 課長評価</p> <p>課長確認後の評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出</p>		<p>(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）</p> <p>確認欄 <input type="checkbox"/></p>	
---	--	--	--